

岩手保健医療大学大学院

Iwate University of Health and Medical Sciences Graduate School

看護学研究科

Graduate School of Nursing Science

修士課程

Master's Program



看護学専攻

Master's Program in Nursing Science

■大学院 看護学研究科 修士課程の教育・研究目的

21世紀の我が国における看護学領域の研究と多様化する高度医療ニーズに対応できる人材として、確かな医療や看護の倫理観を備え、広い視野と深い人間理解に基づき、保健、医療、福祉等の幅広い知識と看護実践力を身につけた看護専門職者を育成します。

本学大学院は、建学の精神である「人々の生活と健康を高め、地域社会に貢献するケア・スピリットを備えた保健医療人を育成する」に基づき、看護学を基盤に自ら考え、行動し、社会を切り拓く人材を養成することを目指しています。具体的には、次のような人材育成に努めます。

- ①広い視野と深い人間理解に基づき、臨床実践力に裏付けられた看護学の教育能力を発揮できる人材
- ②健康に対する社会的ニーズを認識し、課題解決のために科学的探究心に根差した研究能力を発揮できる人材
- ③社会の多様な状況に応じた看護を提供するために、高い倫理観に基づいた看護の専門性を発揮できる人材
- ④住民を含めた多職種連携チームの要となる看護の専門性に優れた人材
- ⑤保健・医療・福祉の分野の種々の課題に対し、判断力、調整力、改革力を伴う優れた看護の管理能力を発揮できる人材

■履修形態の弾力化（夜間開講・休日開講）

職業を有する等のため、昼間だけでは学修が困難と予想される学生のために、履修形態を弾力化します。平日のVI時限（18：00～19：30）と土曜日Ⅰ～Ⅳ時限（8：50～16：10）にも授業を行い、働きながら学修が進められるよう配慮します。



■大学院生の生活に配慮した履修を進めています

■遠隔授業を活用した学修

遠隔地においても学修が可能となるよう、授業の一部を双方向対面が可能な Zoom 形式等のインターネット通信を活用し、自宅や職場での受講を可能にしています。本学ではこうした通信環境を整え、遠隔授業のノウハウを熟知した教員が、大学院生の学修や修士論文の作成を支援します。

■長期履修生制度

本職業を有する等の事情により、標準修業年（2年）を超えて一定の期間（3年）にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを申し出た場合は、審査の上、計画的な履修を認めます。長期履修生の授業料（年額）は、通常の授業料の年額に2年を乗じた額を、3年で除した額とします。本制度の詳細につきましては、研究指導を受ける予定の教員にご相談ください。

■アドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

本研究科では、「看護学を基盤に自ら考え、行動し、社会を切り拓く人材を養成する。」ことを目的としており、大学院教育を受けるにふさわしい能力・適性を備えた人材を受け入れるため、以下のアドミッション・ポリシーを策定しています。

- 1) 専門性の高い看護学の修得を志向する人
- 2) 看護学専攻の教育を受けるための基礎的な知識や技術を有する人
- 3) 看護学の教育・研究者として、看護学や看護実践の発展に貢献する意欲を有する人
- 4) 看護学や看護実践に対する高い探求心を持ち、主体的に学修する意欲を有する人

■ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

本研究科では、次の能力を有していることを重視し、所定の単位を修めた学生に対して修了を認定します。

- 1) 広い視野と深い人間理解に基づく臨床実践能力と看護学の教育能力を有している。
- 2) 健康に対する社会的ニーズを認識し、課題解決のために科学的探究心に根差した研究能力を有している。
- 3) 社会の多様な状況に応じた看護を提供するために、高い倫理観に基づいた看護実践能力を有している。
- 4) 保健・医療・福祉チームの一員として、多職種集団と連携できる能力を有している。
- 5) 保健・医療・福祉の分野の種々の課題に対し、判断力、調整力、改革力を伴う優れた看護の管理能力を有している。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育課程編成、教育内容、方法を明確化し、以下のカリキュラム・ポリシーを策定しています。

- 1) 広い視野で看護を捉えるため、看護実践力、教育力、研究力に有機的につながるような理論・専門的知識を学ぶことのできる科目を設置する。
- 2) 看護に対する科学的探究心を培い、専門的知識、態度、論理的思考を統合し看護実践に応用することのできる能力を養える科目を配置する。
- 3) 臨床現場が抱える倫理的諸問題やこれまでの研究成果や課題、看護実践の質を分析、評価する意義と方法を学ぶ科目を配置する。
- 4) 教育・管理・指導的な立場で看護職のリーダーとして活躍するとともに、保健・医療・福祉チームの一員として協働する際に必要な知識やスキルを身に付ける科目を配置する。
- 5) 社会の多様な状況に応じた看護を提供するため、知識と研究を有機的に結び付けた管理能力を身に付けるための科目を配置する。

■修学環境について

本研究科では、学生が自身の教育や研究を効率的に行うことができる修学環境を整えています。



■大学院生全員へノートパソコンを貸与



■文献や関連図書の整備



■様々な形式で学習できる講義室

その他、遠隔授業を行うためのハイスペック機器、いつでも利用できる印刷機、多種多様な規格に対応したAV機器などを整備しています。

本学大学院に入学された第1期生の皆様にインタビューしました。

Q. 本学大学院（看護学研究科）への進学を決めた理由を教えてください。



曳地 由紀子さん
(看護管理学分野)

A. ファーストレベルで研修会に参加した際、学ぶ楽しさと、その後の仕事や研究に活かすことのできる情報を得ることができました。もっと勉強したいと思い、大学院の進学を決めました。後進の看護師にも、正しい教育や指導ができるように頑張ってお勉強していきます。

A. 教授の方々が経験豊富で素晴らしく、多くを学ぶことができ、働いてきたことの意味付けや集大成ができるのではないかと思います、入学を決めました。また、働きながら学習できる支援、仕事との両立に便利な立地、個々を尊重できる環境であり、新たな発見や感動がありそうだと思います。



高橋 明美さん
(看護管理学分野)

他の院生からは…

A. 新設の大学院ができるということで興味を持ちました。事前相談では、経験豊富な先生方に研究に関することはもちろん、入学後の学習の進め方や大学院に通いながらの生活などにも親身になって相談に乗っていただきました。入学後のイメージができ、入学を決めました。

■教育課程の概要

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択	
共通科目	看護理論特論	1前		2	
	看護研究方法特論	1前	2		
	臨床倫理特論	1後	2		
	多職種連携特論	1後	2		
	統計学特論	1前		2	
	質的研究方法特論	1前		2	
	医療社会学特論	1後		2	
	フィジカルアセスメント特論	1前		2	
	コンサルテーション特論	1後		2	
	災害看護特論	1後		2	
	看護学教育特論	1後	2		
小計 (11 科目)		-	8	14	
専門科目	基礎・地域連携看護学領域	基礎看護学特論Ⅰ	1前		2
		基礎看護学特論Ⅱ	1後		2
		基礎看護学演習Ⅰ	1前		2
		基礎看護学演習Ⅱ	1後		2
		地域看護学特論Ⅰ	1前		2
		地域看護学特論Ⅱ	1後		2
		地域看護学演習Ⅰ	1前		2
		地域看護学演習Ⅱ	1後		2
	臨床・応用看護学領域	老年看護学特論Ⅰ	1前		2
		老年看護学特論Ⅱ	1後		2
		老年看護学演習Ⅰ	1前		2
		老年看護学演習Ⅱ	1後		2
		母性看護学特論Ⅰ	1前		2
		母性看護学特論Ⅱ	1後		2
		母性看護学演習Ⅰ	1前		2
		母性看護学演習Ⅱ	1後		2
		小児看護学特論Ⅰ	1前		2
		小児看護学特論Ⅱ	1後		2
		小児看護学演習Ⅰ	1前		2
		小児看護学演習Ⅱ	1後		2
		精神看護学特論Ⅰ	1前		2
		精神看護学特論Ⅱ	1後		2
		精神看護学演習Ⅰ	1前		2
		精神看護学演習Ⅱ	1後		2
	看護管理学領域	看護管理学特論Ⅰ (看護部署管理論)	1前		2
		看護管理学特論Ⅱ (看護組織調整論)	1前		2
		看護管理学特論Ⅲ (看護施設管理論)	1前		2
		看護管理学演習	1後		2
小計 (28 科目)		-		56	
研究科目	看護学特別研究	2通	8		
	小計 (1 科目)	-	8		
合計 (40 科目)		-	16	70	

■看護学領域

①基礎・地域連携看護学領域

様々なライフサイクルや健康段階にある人々への看護実践の基盤となる看護援助を探究する。看護実践の理論的背景、根拠に基づく看護援助技術の実証的研究を行う。地域で生活する人々とその家族、療養中の看護の対象者など、様々な状況の看護について探究する。さらに、看護の場を限定せず、地域包括ケアシステムにおける看護課題を研究する。

②臨床・応用看護学領域

看護援助における科学的根拠に基づいた臨床研究を行う。小児、老年等の各々の臨床領域における効果的な看護援助の要因分析、援助方法の開発・実施・評価に関する研究を行う。また、地域で生活する人々とその家族、入院や治療中の看護の対象者など、様々な状況にある人々の看護について研究し、対象者及びその家族の看護についての調査を進める。さらに、看護の場を限定せず広く看護学的観点から健康問題を明らかにし、保健・医療・福祉との連携を図りながら、保健・医療・福祉施設のみならず学校・地域・コミュニティにおける看護課題を研究する。

③看護管理学領域

看護管理に関する科学的根拠に基づいた臨床研究を行う。看護管理者に必要とされる組織運営、組織調整、組織構築、経営、看護行政・政策に関する研究や看護学的観点からの看護組織の構築と運営、施設の経営参画についての課題を明らかにし、看護組織が果たす役割について研究する。

また、各々の臨床領域における効果的な看護援助の要因分析、援助方法の開発・実施・評価に関する研究を行うとともに、地域で生活する人々とその家族、入院や治療中の看護の対象者など、様々な状況にある人々の看護について、看護学的観点から対象者及びその家族の健康問題を明らかにし、保健・医療・福祉との連携を図りながら調整・管理する上で必要な要件について研究する。

■修了要件

2年(長期履修生の場合は3年)以上在籍し、授業科目についての所定の教育プログラム

■共通科目 14 単位以上 (必修科目 8 単位、選択科目 6 単位以上)

■専門科目 8 単位以上 (うち、各自の専門領域の特論Ⅰ、Ⅱ及び演習Ⅰ、Ⅱの 8 単位は必修)

●看護学特別研究 8 単位

計 30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することにより、修士(看護学)の学位を得ることができる。英語名称は「Master of Science in Nursing」とする。

2022年度 大学院学生募集案内

【募集人員】 看護学研究科・看護学専攻：一般入学試験・社会人特別選抜 3名

【学 位】 修士（看護学）

【入学資格】 次のいずれかに該当する者で、原則として看護師免許を取得した者（2022年3月31日までに取得見込みの者を含む。）

①大学を卒業した者 ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④日本において、文部科学大臣が指定した外国大学日本校の16年の課程を修了した者 ⑤外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥文部科学大臣の指定した者 ⑦文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を終了した者で本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等あるいはそれ以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

【入学資格認定審査】

入学資格⑦で出願を希望する者は、出願前に入学資格の認定審査を受けてください。申請期間は下表を参照。

【出願希望者の事前相談】

- 1) 出願希望者は出願前に必ず、各自の希望する分野の教員と面談や電子メール等で連絡を取り、入学後の研究内容等について事前相談をしてください。
- 2) 相談期間や教員の連絡先は、募集要項もしくはHPを参照してください。

【入学試験日・出願期間等】

入学検定料：30,000円

(※本学学生が、卒業後直ちに志願する場合は、入学検定料は無料とする。)

	第一次募集	第二次募集
試験区分	一般選抜入学試験・社会人特別選抜試験	一般選抜入学試験・社会人特別選抜試験
入学資格審査申請期間	2021年10月11日(月)～ 2021年11月4日(木)必着	2021年12月27日(月)～ 2022年1月19日(水)必着
出願期間	2021年11月15日(月)～ 2021年11月26日(金)必着	2022年1月31日(月)～ 2022年2月10日(木)必着
試験日	2021年12月4日(土)	2022年2月19日(土)

※第一次募集の出願状況により行わない場合もあります

【学 費】 入学金：250,000円 授業料：550,000円(年額)

(※本学卒業生が大学院に入学する場合は、入学金は無料とする。)

【募集要項及び出願書類】

7月1日(木)以降に本学ホームページからダウンロードしてください。

【地図及び問い合わせ先】

岩手保健医療大学大学院 学務課

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目6番30号

TEL：019-606-7030

FAX：019-606-7031

